

東京杉

◆不等厚成形合板による東京杉のダイニングチェア◆



材：杉（柀目） / サイズ：幅420 奥行520 高さ960

～地産地消を目指し東京の杉の温もり届けます～

東京都の総面積の1/3は森林です。東京の西側：多摩地域では現在でも材木市が行われており質の良い木材があります。そんな東京の森の代表的な木材＝【杉】の木目を活かした家具・雑貨です。

デザイン：伊藤洋平

制作：八王子現代家具工芸学校

【杉 × 柾目】

木質の柔らかさと真直ぐに伸びた木目の線が日本特有の美しさを兼ね備えています。



【杉 × 不等厚成形合板による曲げ加工】

必要な強度（接合部分での十分な木の太さと貼り合せのため無垢材より木として強くなる）・動きのある曲線と人の体に沿った曲線・軽さも備えるための削りこみなどがイスとして杉を使うことのデザイン性と強度の問題点を解決しています。



杉材の温もりと軽さをいかし、強度的な問題点は不等厚成形合板と言う方法で曲げることにより、その曲線がイスとしての強度を保ち、座りやすさを作り出し、優雅な美しさも兼ね備えて見ても楽しめるイスとなっております。全て無垢材を使っておりますが年配の方にも優しい軽いイスです。

* 不等厚成形合板：

1枚1枚の板の端から端までの厚みを変えて曲げることにより、下は太く上の先端は細くなる無垢材の削り出しでは難しい強度を保ちながら繊細なラインを作り出せる曲げ加工の方法です。

東京杉

八王子現代家具工芸学校